

伊賀市同和地区生活実態調査からみる主な実態(抜粋)

対象 : 935世帯 2,266名

資料:NO, 3-3

		市内同和地区	前川地区(490名)																												
1	住環境		大土住宅 70年(S45)~73年(S47) 43年 41棟82戸 86年(S61)1棟1戸化 36棟36戸 1棟2戸:5棟10戸 丸内住宅 78年(S53)~79年(S54) 35年 3棟12戸 石畑住宅 81年(S56)~82年(S57) 32年 3棟6戸 上柘植 86年(S61)~87年(S62) 27年 22棟44戸 (合計 69棟108戸) ・改良住宅公営住宅は、老朽化が激しくバリアフリー化がされていない。 持ち家対策 69年(S44) 44年 142戸 ・持ち家についても、高齢化が進行しバリアフリー化されておらず、老朽化が進行している。																												
2	世帯員年齢	・65歳以上では、伊賀市28.1%、地区30.5%でより高齢化が進んでいる。 ・15歳未満では、伊賀市12.3%、地区9.9%で少子化も進んでいる。	・65歳以上では、25.10% ・15歳未満では、9.8% ・青年層が地区に固定しないため、高齢化世帯が増加しつつある。																												
3	最終学歴	・義務教育終了は、37.9%で、60歳以上が50%以上を占めている。 ・高校卒業は、36.1%で、30歳~50歳代が、60%を占めており、奨学金制度時代である。 ・高校中退は、3.6% ・大学卒業は、5.3%で、20歳~30歳代が、17%を占めており、他の年齢層は、一桁台である。 ・不就学は、4.5%で、70歳以上が10.1%を占めており、10人に1人の割合である。	・義務教育終了は、33.9% ・高校卒業は、35.1% ・高校中退は、3.1% ・大学卒業は、4.3% ・不就学は、2.7%																												
4	教育		・低学力の実態は、10年前より向上しつつも、低学力傾向に集中しており、また地区内においても学力の格差が拡大している。 ・家庭における学習習慣が確立されていない。特に父子母子祖父母家庭においては、確立されていない。 ・保護者の子どもに対する将来像(子どもの進路)が確立されていない。 ・大学進学は増加の傾向にあるが、大学卒業後、地区外(県外)への転出が増加している。 ・経済的な関係で、子どもの教育保障(大学進学)が困難な状況である。 中には、高校の授業料も未払いの世帯も存在する。																												
5	世帯の収入	・地区では、100~300万円未満が、31.4%、次いで100万円未満が27.5%と低所得である。 ・伊賀市では、各所得別においては、平均的に分布している。 ・地区の500万円以上は、16.8%、伊賀市40.9%で収入での格差がうかがえる。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>(伊賀市)</th> <th>(差)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>100万円未満</td> <td>27.6%</td> <td>(16.9%) 10.7</td> </tr> <tr> <td>~</td> <td>300万円未満</td> <td>23.7%</td> <td>(19.9%) 3.8</td> </tr> <tr> <td>~</td> <td>500万円未満</td> <td>19.9%</td> <td>(22.3%) -2.4</td> </tr> <tr> <td>~</td> <td>700万円未満</td> <td>8.3%</td> <td>(14.3%) -6.0</td> </tr> <tr> <td>~</td> <td>1,000万円未満</td> <td>7.1%</td> <td>(13.2%) -6.1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,000万円以上</td> <td>6.4%</td> <td>(13.4%) -7.0</td> </tr> </tbody> </table> ・若年中年層の無職層は減少しつつあるが、低賃金の状況である。			(伊賀市)	(差)		100万円未満	27.6%	(16.9%) 10.7	~	300万円未満	23.7%	(19.9%) 3.8	~	500万円未満	19.9%	(22.3%) -2.4	~	700万円未満	8.3%	(14.3%) -6.0	~	1,000万円未満	7.1%	(13.2%) -6.1		1,000万円以上	6.4%	(13.4%) -7.0
		(伊賀市)	(差)																												
	100万円未満	27.6%	(16.9%) 10.7																												
~	300万円未満	23.7%	(19.9%) 3.8																												
~	500万円未満	19.9%	(22.3%) -2.4																												
~	700万円未満	8.3%	(14.3%) -6.0																												
~	1,000万円未満	7.1%	(13.2%) -6.1																												
	1,000万円以上	6.4%	(13.4%) -7.0																												
6	就労状況	・主として仕事は、20~60歳未満で、66.6%、働いていないが、23.4%(専業主婦含む) ・年齢別での働いていない理由については、20~60歳未満で、働き口がないが25%を占めている。 ・主な仕事の内容では、専門的技術的が、22.7%(前回11%) 次いで、サービス業が、15.7%(0%)、労務作業が21.7%(44.3%) ・年齢別での割合は、専門的技術的が、20代が27.6%、30代が22.8%、40代が30.8%	・主として仕事は、35.7%、働いていないが、43.7% ・働いていない理由については、高齢のためが36.0%で8割強 ・主な仕事の内容では、専門的技術的が24.8% 次いで、労務作業が17.6%、サービス業が16.7%、事務が14.0%、管理的職業は、5.0% ・事業の種類では、サービス業が21.2%、次いで製造業が17.6%、公務が11.7%、建設が9.9%																												

		<p>農林業では、70歳以上が22.6%、15～40歳未満が0%で従事者いない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労務作業で、15～20歳未満が58.3%で義務教育終了・高校中退における職業が限定されている。 ・就業形態は、常雇が44.2%(30.8%)、日雇いが2.9%(7.9%)で、安定化の方向を示している。 ・1年間の収入では、300万円未満で、地区が81.6%、伊賀市で65.5% 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労形態は、常雇(正社員)で48.2%、常雇(パート)で25.2%、次いで臨時(アルバイト)で9.9%日雇いが2.2% ・1年間の収入では、200万円未満が45.2%、次いで300～500万円未満が17.6% 200～300万円未満で16.3%。(300万円未満では、61.5%)、500万円以上が9.0%
7	農業	<ul style="list-style-type: none"> ・非農家が85%、農家が12.4% ・耕地面積は、0.3ha未満が、地区28.6%、伊賀市0.9%で、小規模農家が占めている。 0.3ha～4.9haが、地区53.8%、伊賀市96.2% 	<ul style="list-style-type: none"> ・非農家が76.9%、農家が19.2% ・耕地面積は、0.3～4.9ha以内で53.3%、次いで0.3ha未満が36.7%、5haが10.0% ・従事者は、60歳代が48.3%、次いで50歳代が27.6%、70歳代が20.7%、30歳未満は0% ・従事者が高齢化し未耕作地が増加。後継者がいない。
8	年金	<ul style="list-style-type: none"> ・加入状況で、国民健康保険が38.9%(40%)、厚生年金が43.5%(38.9%) 共済が6.9%(6.6%)、未加入が9.7%(10.3%)で、1割近くが未加入である。 ・未加入の年齢別は、20歳代が13.4%、30歳が9.2%で若い世代における未加入が1割近くある。 ・受給状況は、国民年金が70歳以上で59.8%、厚生年金が60～65歳未満で61.3%、 共済が60～65歳未満で10.3% ・月受給金額では、60～65歳未満で1～2万円が14.3%、 65～70歳未満で4～5万円が13.3%、70歳以上で3～4万円が一番高かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加入状況で厚生年金が48.7%、次いで国民年金が45.1%、共済が7.7%、未加入が8.7% ・受給状況は、国民年金が51.8%、次いで厚生年金が44.0%、共済が4.2% ・月受給金額は、2～3万円が17.1%、次いで6～7万円が12.4%で、他は一桁代である。1万円未満は3.9% ・低年金受給者が増加し、低額であり、生活が困難な状況にある。
9	生活保護	<ul style="list-style-type: none"> ・受けているが、地区209世帯(935世帯)で22.4%、伊賀市716世帯(36,577世帯)で2%で 生活が困窮であることを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受けているが、16.0% ・10年以上が40%、次いで1～3年未満が24.0%で、最近の受給が増加
10	識字	<ul style="list-style-type: none"> ・50歳以上が、ほとんど読めないが、7.5%存在する。 ・パソコンの普及率は、あるが45.1%で、半数以上パソコンを持っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通に読めるが83.3%、漢字が少しが6.7%、かなが1.4%、読めないが1.2% ・パソコンがあるが55.1%、ないが44.9%
11	子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てについての悩みで、差別を受けないか心配が12.8%で、経済的な背景が11.6%存在する。 ・経済的な悩みについては、高校・大学の教育を受けさせられないが、70%あり、 学校以外の教育を受けさせられないが50%存在する。 ・子どもの進路は、高校卒が37.6%、短大大学が24.7%で経済的負担が背景にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てについての悩みで、差別を受けないか心配が20.7%で、経済的な背景が17.2% ・経済的な悩みについては、高校・大学の教育を受けさせられないが71.4% 学校以外の教育を受けさせられないが14.3% ・子どもの進路については、高校卒が34.5%、短大大学が31.0%
12	被差別体験	<ul style="list-style-type: none"> ・5年間での体験が25.7%で4人に1人が被差別体験をしている。 ・内容については、職場が40.1%、日常生活が36.9%、結婚が33.7%、交際が12.8%と続いている。 ・地区出身者の認識のもとでの差別が、知っていたと思うで53.8%あり意図的であることがうかがえる。 ・差別の態様は、言葉が62.6%、態度が28.9%で直接的なものが多くを占めている。 身元で、4.8%あり、身元調査の現実が存在する。 ・間接的差別体験では、あるが19.8%で、結婚の内容が51.4%と半数を占めている。 ・結婚が破談になったが11.7%存在し、5年以内が9.6%あり、結婚差別の厳しさを物語っている。 年齢では、40歳以上が105件で、15～40歳未満においても21件が破談になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年間での体験があるが35.3% ・内容については、職場が49.1%、結婚が36.4%、日常生活が30.9%、交際が20% ・地区出身者の認識のもとでの差別が、知っていたと思うで57.7% ・差別の態様は、言葉が65.5%、態度が34.5% 身元が1.8%、大山田地区では、20.0%の身元調査の現実がある。 ・間接的差別体験では、あるが39.5%で、結婚の内容が30.1%、次いで職場が20.5% ・結婚が破談になったが、15%、大山田地区の20%に次いでいる。5年以内が25.6%
13	部落差別の今後	<ul style="list-style-type: none"> ・なくすことは難しいが52.1%あり、完全になくすことができるが4.8%で、差別の厳しさを物語っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なくすことは難しいが、53.2%で、完全になくすことができるが7.7%